

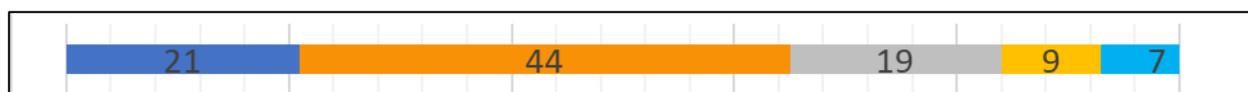
令和6年度 学校評価アンケート集計結果・考察と対策

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。昨年末にご協力いただきました学校評価（保護者・地域の方々）の集計結果及び考察と対策をご報告いたします。

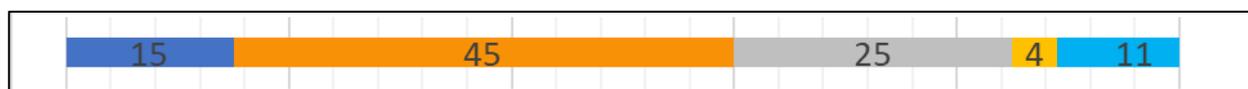
■十分に達成されている ■達成されている ■あまり達成されていない ■達成されていない ■分からない

I 学習について（集計結果）

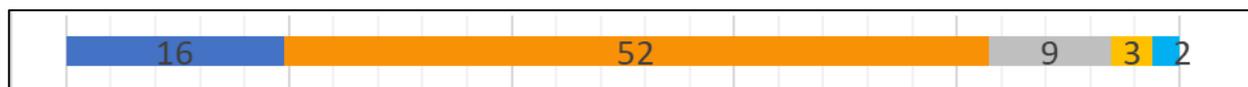
1 児童・生徒は、自ら進んで授業をはじめとした学校の学習に取り組んでいますか。



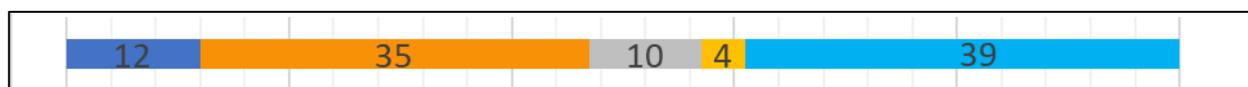
2 学校は、児童・生徒の進度や習熟度に応じた授業や学習支援を行っていますか。



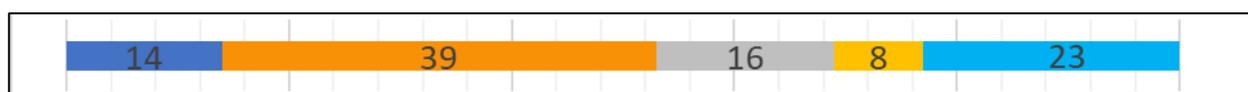
3 学校は、子供同士で意見交換したり、調べたりするなど、協働的・対話的な学びがある授業を行っていますか。



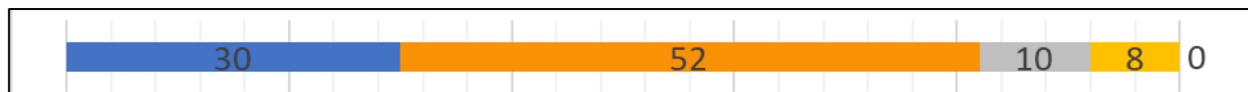
4 学校は、「シブヤ未来科」の学習をとおして、自ら課題を設定して解決への見通しを考えたり、考えたことを発表したりする学習を推進していますか。



5 学校は、上の質問1から4の授業を推進するために、児童・生徒のタブレット端末を効果的に使っていますか。



6 児童・生徒は安心して学習に取り組むことができましたか。



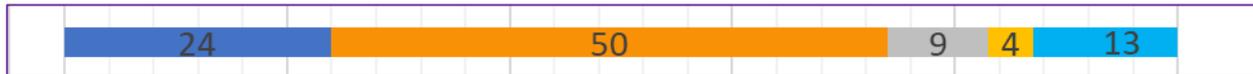
I 学習について（考察と対策）

本年度は渋谷区教育委員会研究モデル校として、「シブヤ未来科」や教科等における「探究」の充実に力を入れて教育活動に取り組んできました。また児童・生徒がICTに関するリテラシーをしっかりと学び、活用することで、各自の学習状況や習熟度に合わせた学びや協働的な学びに安心して取り組むことができるよう学校全体で推進してきました。教員の研修会 TLD (Teachers Learning Day) においても、「教え込み」でなく、一人一人が自ら課題意識をもち能動的に学べるような「探究」的な学び、協働的な学び、個別最適な学びに関する研修を積み重ねてきました。その結果、一人一人が自ら進んで学習に取り組む態度や積極的に他者と学び合う態度が、各学年、各学級でこれまで以上に多く見られるようになってきました。

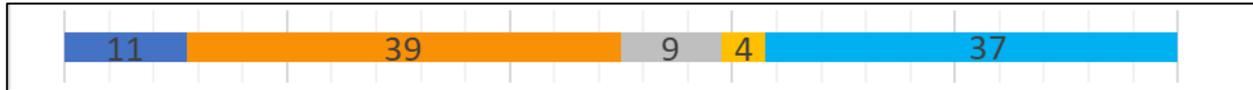
次年度は、今年度の実践と本校の特色を生かして「9年間のシブヤ未来科プログラム（カリキュラム）」を整備していきたいと考えています。また、保護者や地域の方に本校での教育活動をより知っていただくために、学校公開や学校ホームページなどを通してそれらを積極的に発信していきます。

II 教育相談について（集計結果）

7 学校は、児童・生徒や保護者の相談に誠実に対応していますか。



8 学校は、いじめ対応の方針を児童・生徒や保護者に明確に伝え、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めていますか。

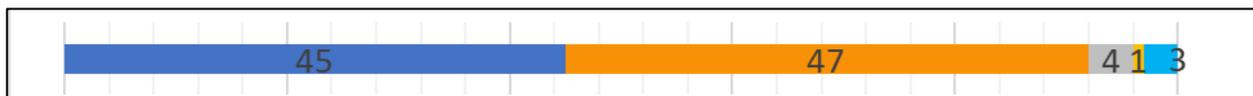


II 教育相談について（考察と対策）

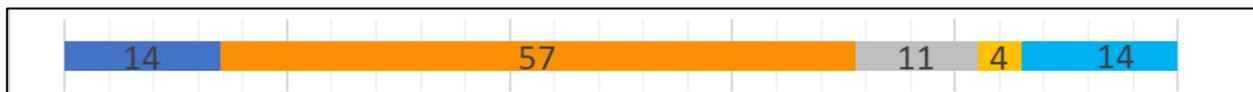
児童・生徒だけでなく、教員も日常の生活の中で人権を意識した言葉遣いや行動を心がけ、いじめの未然防止、心理的安全性を保つために努めました。学校生活アンケートやいじめに関するアンケートを毎月実施し、学校全体で児童・生徒の情報を随時共有することにより、いじめの早期発見・対応、不登校への早期対応に努めることができました。今後も、教育データを活用し、児童・生徒の不安や SOS を素早くキャッチし、諸課題の予防や早期発見・早期対応に努めます。

III 教育環境について（集計結果）

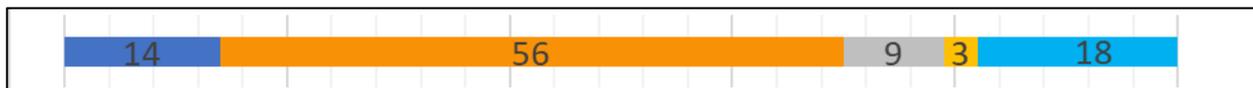
9 学校は、学校だよりなどの配布物や調査等について、学校ホームページや Home&School などを利用して、ペーパーレス化を推進していますか。



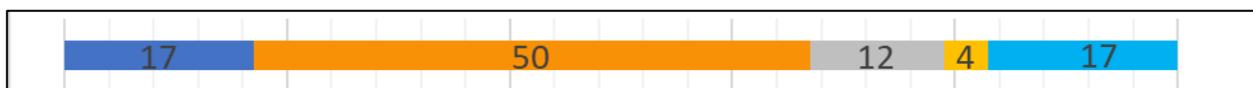
10 学校は、教育の方針を分かりやすく伝えていきますか。



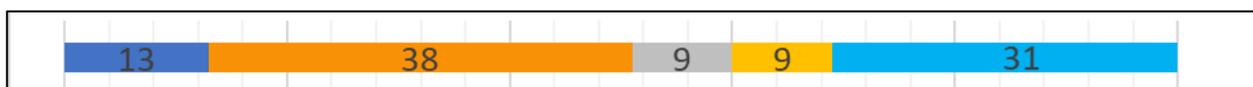
11 学校は、家庭・地域の理解と協力を得て、教育活動を推進していますか。



12 学校の教育活動は、学校の特色が表れたものになっていますか。（9G）



13 学校は、デジタル・シティズンシップが身に付くようにタブレット端末を適切に活用した教育活動を推進していますか。



III 教育環境について（考察と対策）

配布物や欠席等の連絡を学校ホームページや home&school 活用することで、ペーパーレス化を図ることができました。また継続的な人権教育や児童・生徒が自ら考え&作り&実践する SNS ルールの実践などを通して、デジタル・シティズンシップ教育の充実を図ってきました。

次年度は、小中一貫校の特色を生かした架け橋プロジェクト（異学年交流活動）や「シブヤ未来科」における小中の垣根を超えた授業交流などのさらなる充実を図っていきます。

IV 自由意見について

多くのご意見ありがとうございます。いただいた貴重なご意見は全教職員で共有をし、来年度の教育活動を進めてまいりますので、引き続き、ご協力のほどよろしくお願いいたします。